

新任管理者教育のご提案

— 据え置いた研修実施には注意 —

コロナ感染も一旦は落ち着き、社員教育を再開する企業が多くなりました。どの階層に、どんな内容を優先してやるべきか、頭を悩ます方も多いのではないのでしょうか。

そんな中、相談を受けることが多くなったのは、「新任管理者」の教育です。どの企業も、コロナ渦で教育を怠ったために、現場では、見よう見まねのマネジメントで四苦八苦する人が多くなっています。そのため、「早く楽にしたい」、そんな想いで研修を企画する人事担当が多いのではないのでしょうか。

しかし、その教育内容は吟味しなければなりません。4月からの約9か月、各自が試行錯誤をしながらマネジメント業務に取り組んでいるはず。もし、その末に壁にぶつかっているとしたら、「かくあるべき」調で基本を教えても、素直に受け入れられるものではないでしょう。その場合、大切なことは、現状の壁（問題や悩み）に対する基本理論の活かし方を丁寧に解き明かしてあげる必要があります。

そのため、新任管理者研修を企画する際には、以下のポイントをおさえて研修会社を選ぶことが重要です。

「新任管理者研修」 研修会社選択のポイント
①現状の問題や課題等、事前に入念なヒアリングをしてくれる
②一般的な知識や考え方だけでなく、自社に合った内容で、社員が抱える問題の解決策を示してくれる
③なぜそのような問題が生じたのか、真因の究明まで行う
④部下ごとの特性（強み・課題）を整理し、育成方法の検討まで行う
⑤現場ですぐに実践できるよう、部下指導対話の訓練まで行う
⑥ツール（実行計画書等）が充実していて、研修後のフォローも可能

弊社では、お客様ごとの現場事情に合わせた研修内容をお作りします。それにより、上記ポイントをおさえた、新任管理者が今まさに必要としているマネジメント法を学ぶことができます。さらに、本番さながらの実技訓練により、翌日からすぐに実践が可能です。

是非、ご興味・ご質問のある方は、下記からご連絡下さい。

> お問い合わせはこちら

